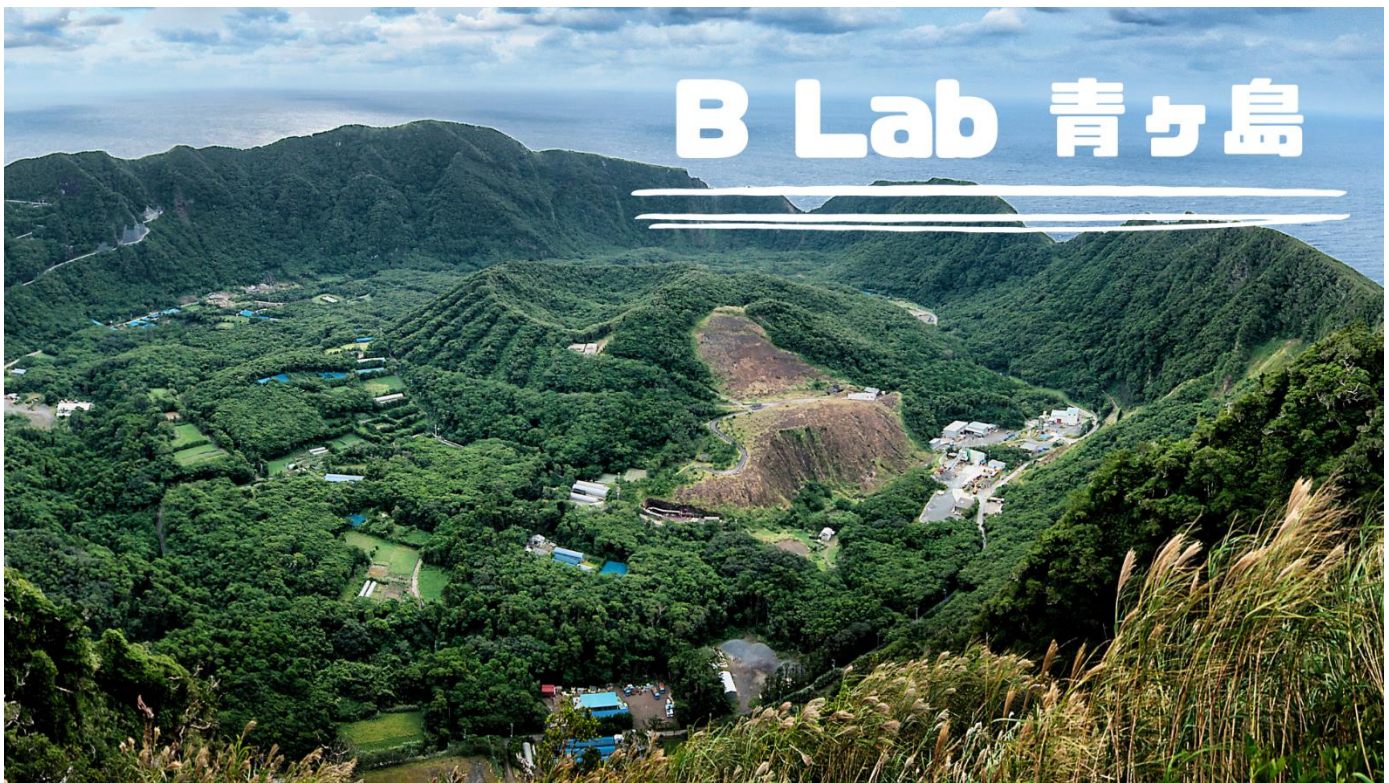


B Lab、島をまるごと DAO 化で地方創生を目指す東京都青ヶ島に「B Lab 青ヶ島」を設置！

B Lab (iU の研究所、 所長 石戸奈々子。以下、B Lab) は、伊豆諸島最南端に位置する東京都青ヶ島に「B Lab 青ヶ島」を設置します。青ヶ島は人口 170 人と日本一人口の少ない村として有名ですが、二重火山や地熱蒸気、満天の星空など魅力に溢れた島です。また、「DAO ヶ島」の愛称でも知られており、DAO(分散型自立組織)を使ったイノベーション拠点としても注目されています。B Lab 青ヶ島はコワーキングスペース「NYAYA」を拠点とし、DAO ヶ島プロジェクトを推進する JPYC 株式会社などと連携し、青ヶ島でイノベーション促進や新しい価値の創造など、未来の可能性を広げる場として様々な挑戦に取り組んでまいります。



●東京都 青ヶ島について

「青酎」など、この島ならではの特産品が人気です。また、JPYC 代表の岡部氏が地方創生の一環として DAO を使った島おこしに注目しており、さまざまなスタートアップにとっての実証実験の場となることが期待されています。JPYC では青ヶ島でブルーエコノミーといわれる海の経済圏の実業を行いつつ、金融機関設立を目指す新規事業などを推進中です。

■ B Lab 青ヶ島 のオーガナイザー 佐々木 加絵氏よりメッセージ

B Lab 青ヶ島のオーガナイザーに青ヶ島ちゃんねるの運営者である佐々木 加絵氏が就任。以下、佐々木よりメッセージ。

この度、B lab 青ヶ島のオーガナイザーに就任しました佐々木加絵です。青ヶ島の魅力を知ってもらおうとともに、新たな体験や喜びを創り未来に繋げていけたら幸いです。



両親、両祖父母共に青ヶ島人。15歳まで青ヶ島で育ち、高校に行くために島を出る。その後就職し東京で20年暮らし、2019年から青ヶ島にUターン。フリーのグラフィックデザイナーとして仕事をしつつ、実家の民宿の仕事などを行う。2021年「青ヶ島ちゃんねる」としてYoutuberの活動を開始。観光PRガイド、特産品や地域振興事業のブランディング・プロモーションを行う。2022年アオガミライ設立。青ヶ島の未来を繋ぐプロジェクトとしてwebメディアAogamiray、コワーキングスペースNYAYAをオープン。2023年、青ヶ島内に留まらず、離島含む地域コミュニティを活性化し、新たな体験や喜びを提供することを使命とし株式会社AOMIを設立。

■ B Lab の概要

Beyond, Borderless, Breakthrough の頭文字をとった「B Lab」は、研究所と銘打ちながら、世界中の大学・研究所、地域、人材をつなぎ、多くの人の得意技や知見を融合させ、新しい技術、サービス、コンテンツ、ビジネス、社会を生み出す参加型プラットフォームです。テクノロジー開発、社会課題解決、新サービス創出などスコープは広いですが、共通項は社会実装で、みんなで作るということ。お父さんもお母さんもおばちゃんも子どももみんな研究員。Lifelong Seeker になり、第2の研究員名刺を持ちます。ソーシャルで、オープンで、参加型で、ユーザーふくめ全ての人がつながり新しい社会を構築し、課題、アイデア、技術、おカネ、スキル、人をマッチングさせ、小さな創造から大きな創造までおもしろい未来をみんなで作ることを目指します。

<関連 LINK> <https://www.blaboratory.org/>

<B Lab 概要>

VISION

AI/IoT等の技術が代表するSociety5.0の入り口に立ち、新しいものを生み出す機関がほしい。そんな矢先に人類を襲ったコロナにより、withコロナ/afterコロナの新しい世界をつくるのが命題となっています。

これまでは、国、大学もしくは企業の研究所が個別に対応してきました。しかし、高度なアカデミズムに立脚した専門性の高い研究機関とは別のアプローチが必要なのではないでしょうか。

ユーザーを含め全てがつながり新しい社会を構築するようなラボ。
ソーシャルで、オープンで、参加型で、様々な知見や多くの人の得意技を融合させて、新しい技術、サービス、コンテンツ、ビジネス、社会を生んでいくプラットフォーム・増殖炉をつくりたい。

テクノロジー開発、社会課題解決、新サービス創出などスコープは広いですが、共通項はデジタルテクノロジーで、社会実装で、みんなで作るということ。

ソーシャルで、オープンで、参加型な新しい研究所、B Labを開始します。



CONCEPT



おもしろい未来の創造

論文を書くだけでなくおもしろい未来をつくり、社会実装することを重視します。課題、アイデア、技術、おカネ、スキル、人とのマッチングの場でもあります。日常生活での工夫・発明や今までにない新たなビジネスの創出など、小さな創造から大きな創造まで、おもしろい未来をみんなで共創します。

世界中の大学・研究所のコミュニティ

世界100の研究所と連携し、組織の枠を超えたコミュニティを創出します。

世界各地がフィールド

バーチャル・リアル問わず世界各地にラボを設置します。

だれでも研究員

100万人研究員計画。おばちゃんも子どもみんな研究員。Lifelong Seekerになり、第2の研究員名刺を持ちます。

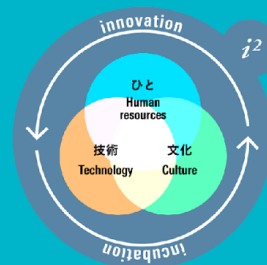
FOCUS

ITやAIなどの「技術」、
ポップカルチャーなどの「文化」、
そして「ひと」

3つの軸がイノベーションを起こし、
3つの軸をインキュベートし、さらなるイノベーションを
誘発する。

イノベーション×インキュベーション=I²
技術、文化、ひと。
みんなで作る、そだてる。

B Labはそのための場、コミュニティ、ネットワークです。



PROJECTS AT HAND



B Lab 所長：石戸奈々子

(慶應義塾大学教授、
CANVAS代表、超教育協会理事)

東京大学工学部卒業後、マサチューセッツ工科大学メディアラボ客員研究員を経て、NPO法人CANVAS、株式会社デジタルえほん、一般社団法人超教育協会等を設立、代表に就任。慶應義塾大学教授。総務省情報通信審議会委員など省庁の委員を多数歴任。NHK中央放送番組審議会委員、デジタルサイネージコンソーシアム理事等を兼任。政策・メディア博士。

B Lab WEB SITE:

<https://blaboratory.org/>

<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

■学長



中村伊知哉（なかむらいちや）

<職歴>

- 1984年、ロックバンド少年ナイフのディレクターを経て旧郵政省入省
- 1998年、MITメディアラボ客員教授
- 2002年、スタンフォード日本センター研究所長
- 2006年、慶應義塾大学大学院教授
- 2020年4月より、iU学長に就任

■設置概要 ※2023年5月1日現在

- ・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13
- ・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：本校舎
右：サテライトオフィス

- ・学生数：744名 ・専任教員数：28名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■基本構想

ICT×ビジネス×グローバルコミュニケーション + 全員インターンシップ×全員起業×オンライン学習

- ・ICT教育：電子学園が積み上げた基盤により、プログラミング・AI・ビッグデータなど、幅広いICTスキル教育を展開
- ・ビジネス創造教育：実務家教員によるビジネススキル教育を実施、ビジネス教養、ビジネスプラン策定力などを身につける
- ・使える英語・グローバル教育：国際舞台で仕事をするために必要な英語力を磨く教育と留学生の受け入れにより国際性も強化
- ・インターンシップとリアルプロジェクト：1人640時間のインターン、実ビジネスの中でハンズオンのリアルプロジェクト教育を実施
- ・全員起業：希望者全員に対し、在学中に起業にチャレンジできるサポート体制
- ・オンラインを活用した授業サポート：『いつでもどこからでも学ぶことができる』をキーワードに、自ら積極的に学ぶための環境の充実

■ 育成人材像

- ・ICT を活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICT を活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : info@i-u.ac.jp